

税理士資格取得をめざす方へ

名古屋学院大学大学院・経済経営研究科では、税理士資格取得をめざす方に向けた社会人大学院を開講しております。税務プロフェッショナル育成に強い経験豊富な教授陣を迎え、税理士試験突破のためにキメ細かい科目・演習を用意。理論的にも実践的にも対応できる人材の養成が行われています。2ヶ月単位で科目取得可能なシステム、平日夜間および土曜日の講義、「さかえサテライト」での受講など、社会人が学習しやすい環境が整っています。さらに、経済学専攻と経営政策専攻を修了することにより、税法分野と会計学分野の両分野の試験科目の一部免除を受けることも可能です。

社会人大学院のご案内

詳細は「2006年度名古屋学院大学大学院入学試験要項」および名古屋学院大学ホームページをご覧ください。

◎名古屋学院大学ホームページ
http://www.nyu.ac.jp/



大学基準協会による 認証評価を終えて

学校教育法によつてすべての大学が受けることを義務付けられている認証評価で、本学は今春、大学基準協会から「大学基準に合格している」という判定を受けました。

本学は「長所」として多くの点が認められ、それらをさらに「伸張」するようにと励まされましたが、「勧告」という形で指摘されたことについては、改善した結果を3年以内に大学基準協会に報告しなければなりません。本学に対するそれは、「監事の監査報告書」において「理事の業務執行」についての「記述がない」という1点でありました。「理事の業務執行」については全く問題はありませんが、「報告書」にそれについての記述が漏れていたのです。この改善は簡単にできますから、それは本学にとつては深刻なことではありません。しかし、その問題が「財務」という項目に含ま

全学点検評価委員会 委員長 新熊清
(外国語学部教授)

れていたために、一部の新聞紙上では、本学がいかに財政的に問題があるかのような誤解を招きかねない記事になっていました。本学関係者の中にそういう誤解がないことを祈りたいと思います。

認証評価では、「長所」や「勧告」のほかに、「助言」として改善の指摘を受けている問題がいくつかあります。それらをどのように改善していくか、そのアクション・プランを各部署の責任者に具体的に示してもらいたいと要請しました。それが5月中旬に出来上がりましたから、改善の推進を学長に期待いたします。

◎名古屋学院大学は大学基準協会による相互評価ならびに認証評価の結果、大学基準に適合していると認定されました。

2005年度入試結果と2006年度入試に向けて

本学の2005年度入試結果は別表のとおりでした。2005年度は「自己推薦AO入試」「センター試験利用入試」を導入したこと等により総志願者数は2,754名(2004年度2,286名)で468名の増加となりました。

18歳人口の減少や本学と同系統の学部学科、新学部・学科の増加など大学を取り巻く環境が厳しい中中部地区の大学の大半は志願者減少でした。志願者の増加は大変心強いことでした。

また、各入試区分の競争倍率は昨年以上の倍率(特に英米語学科は、一般入試2.74倍・センター入試3.33倍という高倍率)でした。

昨年より志願者が増加してきている理由としては、教育内容、情報・IT環境、留学制度の充実、就職実績等が多くの学生・社会から評価されてきているからです。

2006年度は、新学部「人間健康学部」/人間健康学科・リハビリテーション学科を4月に開設予定です。この開設を視野にいれ入試改革を行うこととしています。

2006年度入試の主な変更点は次のとおりです。

2005年度入試結果

学部	学科	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
経済	経済	992(79)	972(77)	602(47)	340(18)
	政策	272(36)	267(34)	246(35)	167(20)
商	商	431(83)	419(83)	307(65)	186(39)
	情報BC	234(47)	228(45)	169(40)	125(29)
外国語	英米語	601(294)	590(290)	281(155)	128(67)
	中国語	117(52)	114(51)	102(52)	52(25)
	国際文化協	107(62)	106(61)	120(69)	49(25)
総合計		2,754(653)	2,696(641)	1,827(463)	1,047(223)

※情報BCは情報ビジネスコミュニケーション学科の略称です。
※()内は女子。

2006年度入試日程

学部	日程	試験内容
7月30日(土)	編入学試験(指定校推薦:前期)	一般入試(前期)
	編入学試験(一般:前期)	一般入試(前期)
	10月15日(土)	体験入学AO入試
10月15日(土)	特別試験(外国人留学生:前期)	一般入試(後期:B日程)
	特別試験(海外帰国生徒・社会人:前期)	特別指定校推薦入試(後期)
	11月12日(土)	スポーツ推薦入試(前期)
11月12日(土)	一般推薦試験	〇センター試験利用入試試験については、個別試験は実施しない
	指定校推薦入試	大学院 (一般入試、社会人特別入試、通信制)
	特別指定校推薦入試(前期)	9月18日(日) 経営政策専攻(博士前期課程:秋学期入試)
11月13日(日)	一般推薦試験	9月23日(金・祝) 経済学専攻(修士課程I期)
	自己推薦AO入試(1期)	英語学専攻(修士課程I期)
	17月7日(土)	自己推薦AO入試(2期)
17月7日(土)	自己推薦AO入試(3期)	10月23日(日) 英語学専攻(修士課程:通信制)
	スポーツ推薦入試(後期A日程)	2月5日(日) 経済学専攻(修士課程II期)
	特別試験(外国人留学生:後期)	英語学専攻(修士課程II期)
17月31日(火)	特別試験(海外帰国生徒・社会人:後期)	中国語学専攻(修士課程II期)
	編入学試験(指定校推薦:後期)	2月11日(土・祝) 経営政策専攻(博士前期課程II期)
	編入学試験(一般:後期)	2月12日(日) 英語学専攻(修士課程:通信制)
2月1日(水)	一般入試(前期)	経営政策専攻(博士後期課程)

① 新学部入試の実施(人間健康学部)
② 一般入試試験場に静岡・松本・高松を増設。
③ 一般入試において調査書利用選抜方式を廃止。
④ 一般入試(前期・後期)を「名古屋高校」で実施。
⑤ 大学入試センター試験利用入試に3教科型を増加。
学生募集のためにさまざまな入試改善・改革を試みていますが、卒業生・在校生・ご父母のみならず、ま方のご協力なくしてできません。
本学の教育内容や教員構成、留学・就職実績、そしてキャンパス環境等は他大学に比べ一段と優れています。同窓生のみならず、本学のその良さを再認識しPRしていただきたいと思っています。そのために入学センターでは、大学案内・入試要項等(無料)を用意しています。
ぜひご協力ください。